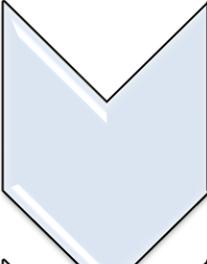


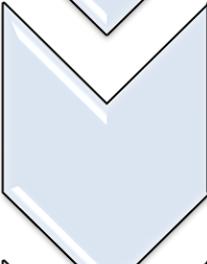
# 振り込め詐欺の対策

どのような対策をとるべきか

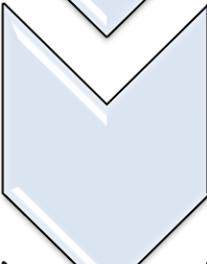
# 対策の方向性



- 予防 → 呼びかけ



- 取り締まり



- 被害回復



- 社会の態度

# 被害予防の呼びかけ

- 人の判断に頼った対策の呼びかけが中心

結果として被害を無くすには至らず  
「人の判断に頼った対策」には限界がある

判断を誤った人に責任があるかのような雰囲気  
気も生み出してしまう

# 注意喚起の難しさ

- 2011年、警視庁のまとめ

60歳以上被害者

611人/1311人（46.6%）

1年以内に「警察官の戸別訪問を受ける」などあり

# 呼びかけの重点

- 犯行者側の情報も可能な限り伝える

具体的な犯人像を伝える  
「どのような集団がどのように仕掛けてくるか」

「自分の場合はどうであろうか」について、具体的にイメージできるようにする

# 被害予防の方法

## ・・・物理的な予防策の必要性

- 個人情報を出さない

電話番号を変える

防犯機能の付いた電話機

「電話はいきなり外とつながる」

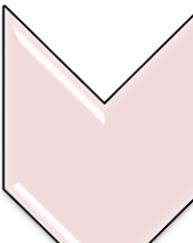
心構え

# 社会の態度

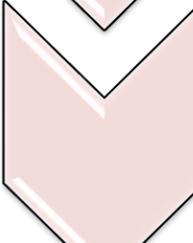
- 
- 犯行者側よりも被害者側に関心が向けられがち(あるいは無関心)



被害者の側に原因を求めがち



(しかし)犯罪の抑止や被害回復には  
つながらない



犯行者こそが問題

# まとめ：振り込め詐欺の被害

人の一般的な反応が利用される

被害者側に関心が向きがち

物理的な予防が必要

犯行者に対する取り締まりが重要